

## マンسفールド 8013 ガasket

	品番	サイズ	必要長さ
フロントドア	3110-059	3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガasket	180 cm
ガラス	3110-056	1/4”(6ミリ)・ロープガasket	150 cm
ガラスクリップ	3120-021	ガラスクリップ用ガasketセクション	8 枚
灰受けドア	※オプション 3110-059	3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガasket	100 cm
※ガasketハースストーン純正品のご使用をお勧めします。			
<b>用意するもの：</b> ガasketボンド、はさみ、ドライバー、ワイヤーブラシ、作業用手袋、潤滑スプレー(必要に応じて)			

始める前に：必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

### フロントドア／灰受けドア(オプション)

- 古いガasketを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
- 溝にガasketボンドを塗布します。量の目安は溝高の3分の1程度です。ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガasket全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガasketが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- そのまま10～15分ほど置いてボンドの粘着力が増してきたら、ガasketを溝に押し込むように装着していきます。新しいガasketがシール付の場合、ガasketについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ装着してください。(ドアの蝶番側の中央から開始するのが一般的です。コーナーから開始するとガasketがはがれやすくなります。)ガasketは引っ張らず縮めず、一周したらガasketが重ならないように、余分な分はカットしてください。
- ドアを閉めて固定します。

### ガラス用ガasket

ガラスには片面(表側)にコーティングが施されています。ガラスを外す前にマスキングテープで印を付けるなどして、表と裏を間違えないようご注意ください。

- ガラスクリップを外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてから外します)外したクリップ、ネジはなくさないようご注意ください。ガラスを慎重に外し、横に置いておきます。表と裏がわかるようにしておくともスムーズです。
- 古いガasketを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
- 新しいガasketがシール付の場合、接着剤は不要です。ガasketについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガasketを溝に押し込むように装着します。ガasketは引っ張らず縮めず、一周したらガasketが重ならないように、余分な分はカットしてください。
- ガラスをドアにセットし、クリップとネジで固定します。クリップとガラスの間に、ガラスクリップ用ガasketを装着してください。ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因となります。

## マンスフィールド 8013 ガasket

### 注意

- ※ 粘着テープ付のガスケットロープの場合でも、粘着力の弱いときはガスケットボンドで接着することをお勧めします。ガスケットについている剥離紙は必ず剥がしてお使いください。
- ※ ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガスケット全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- ※ スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますのでご注意ください。
- ※ ガスケットを交換後は、ドアが閉まりにくくなる場合があります。なじんでくるまでは、ドアを閉める際にドアをしっかりと押し込んでからハンドルを回すようにしてください。解消されない場合には、ドアラッチの調整が必要となる場合があります。

ラッチの調整（詳しくはラッチキット技術資料 [90-73240] をご参照ください）

ドアが閉まりにくい場合には、スペーサー（品番：4700-0790）を1枚ずつ追加していくことで調整可能です。



スペーサー(4700-0790)

3ミリほどの隙間

セット・スクリュー